

日本NPO学会第10回年次大会



日本におけるNPO融資の現状と課題

明治大学経営学部

小関 隆志

問題の所在



- 事業型NPO・社会的企業への融資に注目が集まる
- NPOに融資する金融機関が近年増加している



しかし・・・

- 金融機関ではNPOへの融資件数はあまり増えていない
- NPOや社会的企業はどの程度**融資需要**があるのか？
- 融資に際して、いかなる**経営課題**をもち、**経営支援**を必要としているのか？

1. NPO融資に関する先行研究



- 日本:**2001年以降**に調査・研究が始まる
- **2004年以降**、調査・研究が本格化
《その特徴》
- 金融機関の融資制度・法制度を紹介したものが**多い**
- 資金を借りる**NPO・社会的企業の側から**融資の実態に迫った研究は**ほとんどない**
- 欧米:アメリカ・イギリスの**CDFI**(コミュニティ開発金融機関)、ソーシャル・ファイナンスの**事例紹介が中心**

2. 日本におけるNPO融資の現状

(1) NPO融資をめぐる動向

- 公的介護保険事業にNPOが参入
⇒ 介護報酬支払いに伴うつなぎ資金の需要
- 民営化・アウトソーシングでNPOに委託
- NPO支援の補助金・助成金
⇒ 委託料、補助金・助成金に伴うつなぎ資金の需要
- 地域経済活性化の手段としてのコミュニティビジネス
⇒ 創業や事業拡大のための資金需要

2. 日本におけるNPO融資の現状 (2) 融資している金融機関・自治体

- 2000年以降に**融資制度の新設**が相次ぐ
 - 東京・群馬・近畿の各労働金庫が2000年にNPO事業サポートローンを開始(現在は全ての労働金庫が制度化)
 - 奈良中央信用金庫が2000年にちゅうしんNPOローンを開始(現在は20以上の信用金庫が制度化)
 - 北海道、福島県、群馬県、神奈川県などが直接融資、利子補給、融資保証などを相次いで新設
- 融資制度の新設は重要な変化を示している。 が...
- こうした**融資制度は実際にどの程度機能しているのか？**

2. 日本におけるNPO融資の現状

(3) NPOバンクの動向



- 未来バンク事業組合(1994年)が最初
- 現在、日本には**9つのNPOバンク**が存在
- 地域で必要なお金を循環させることを目的
- 財政規模は小さいが、**マスコミから注目**

- 金融商品取引法、貸金業法(2006年)の影響

2. 日本のNPO融資の現状

(4) NPOの融資需要

- **NPO自身の融資需要はそれほど大きいのか？**
- 2006年11月現在、借入残高があるNPOは**23.0%**のみ
- そのうち、**金融機関からの借入は31.5%**にとどまる(経済産業研究所調査結果)
- **NPOはどの程度融資需要をもち、その需要はどれほど満たされているのか？**
- **潜在的な需要が大きい場合、実際の融資に結びついていない障害はどこにあるのか？**

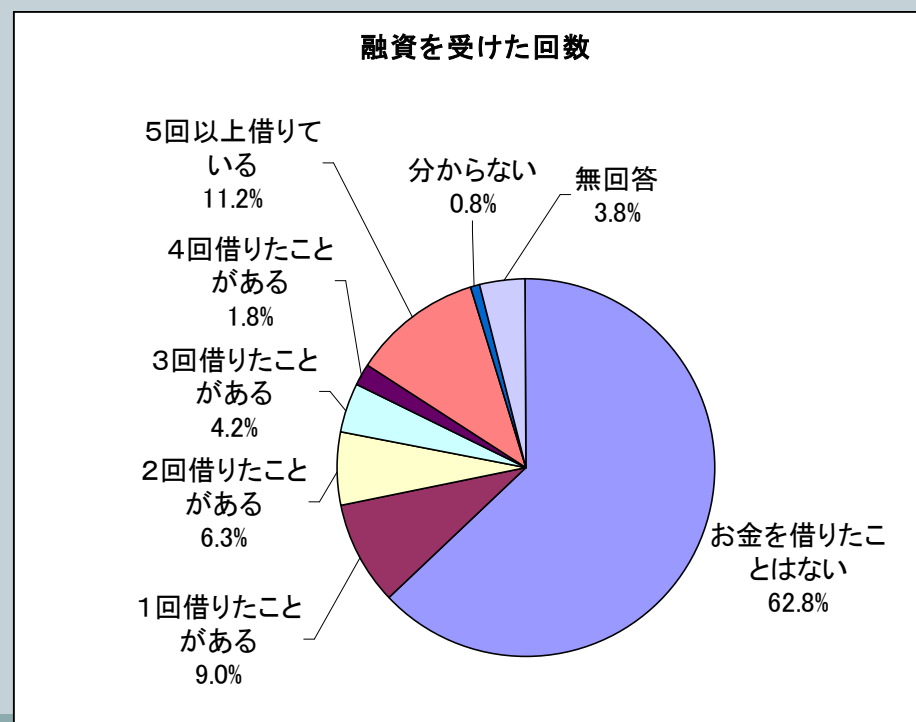
3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査

(1) 調査の概要

- 聞き取り調査（2007年7月～2008年1月）
 - NPO法人、社会的企業、中間支援組織、金融機関、計38団体を対象
- 質問票調査（2007年11月～12月）
 - NPO法人2000団体を対象
 - 有効回収率31.2%（599団体）
 - 調査結果は下記を参照
<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~koseki/result/>

3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査 (2)借入の経験

- 資金を借りた経験のあるNPO法人は約3分の1(33.4%)
- 収入規模が大きくなるに従って、借入の経験が増える
- 保健医療福祉や中間支援の事業分野は借入に積極的
(委託事業、認可事業)
- 委託料の支払時期
(精算払い・概算払い)
- 非事業型NPOは融資に対して消極的



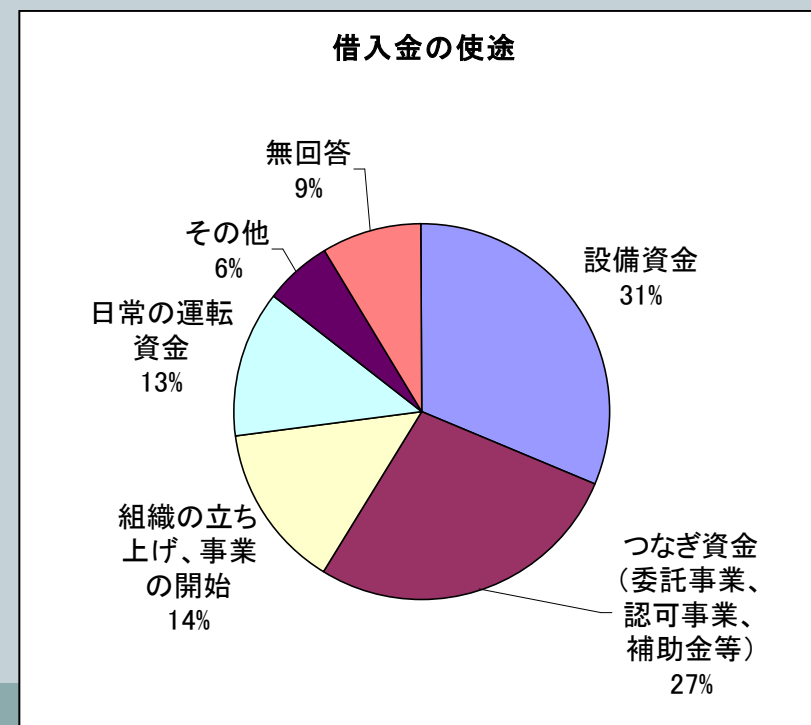
3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査 (3) 借入金金の使途

- 主な使途は事業所の購入・賃貸、設備投資など
委託事業等のつなぎ資金は2位
- 認可事業・委託事業でも、つなぎ資金とは限らない
⇒むしろ設備資金の必要性

が高い

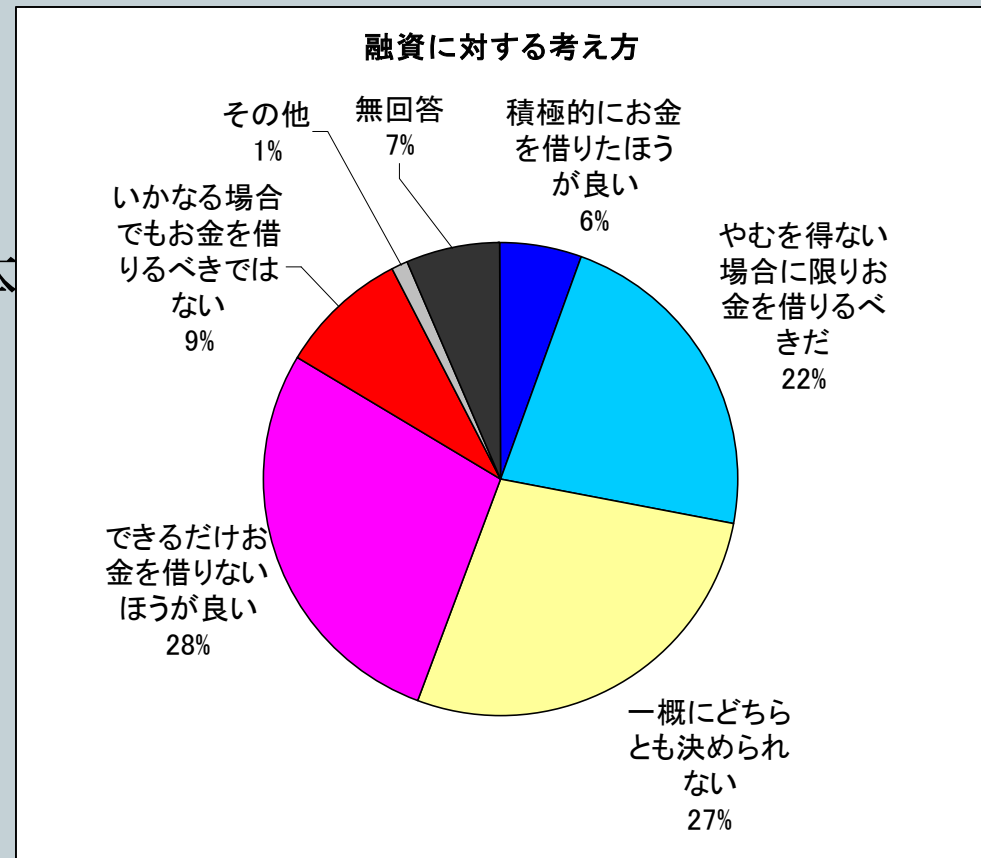
ギャップ

- 金融機関はつなぎ資金の
融資割合が大きい



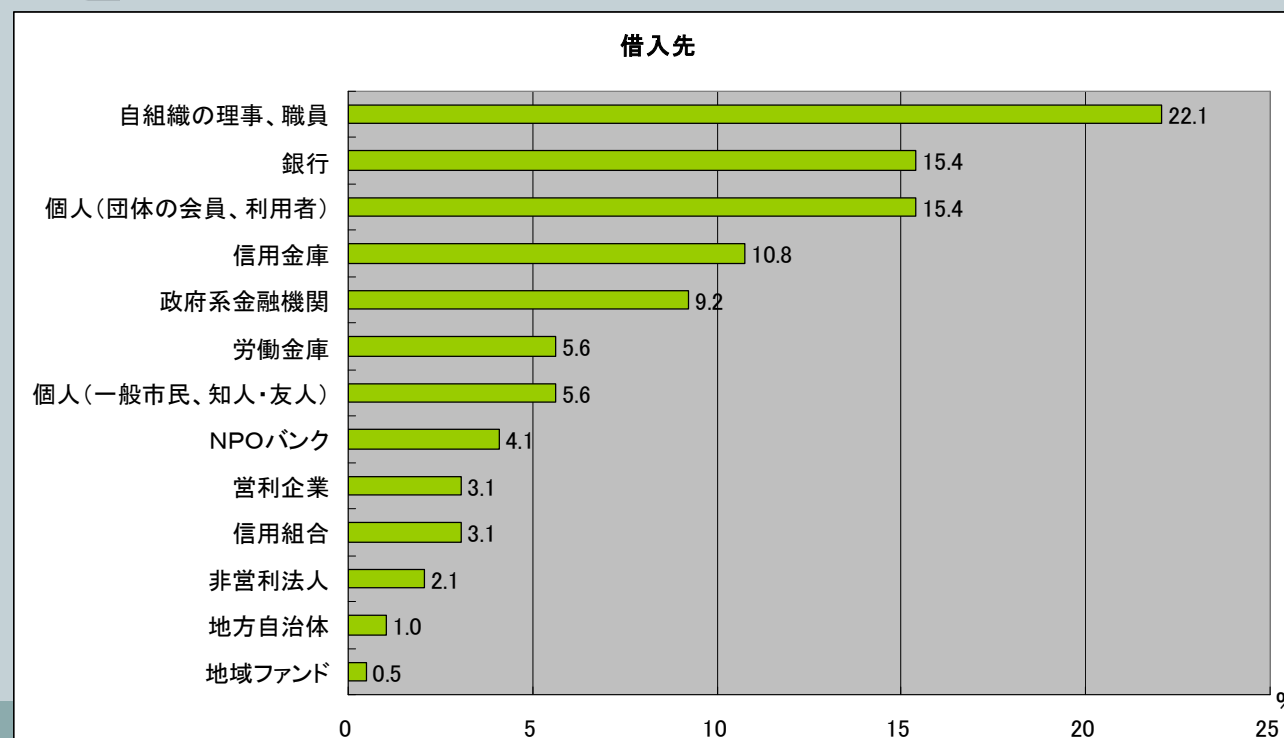
3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査 (4) 融資に対する考え方

- 融資に対して積極的な考え方、消極的な考え方、中立的な考え方が**ほぼ3分**されている
- **認可事業**(公的介護保険など)を主に担っている団体は、**融資に積極的**な姿勢
- **企業としてのアイデンティティの強さ**が、資金調達方法の規範意識に影響。



3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査 (5) 借入先の選択

- 外部から資金を借りるのか、自組織内で調達するのか
- 金融機関から借りるのか、知人・友人から借りるのか
- どの金融機関を選ぶのか

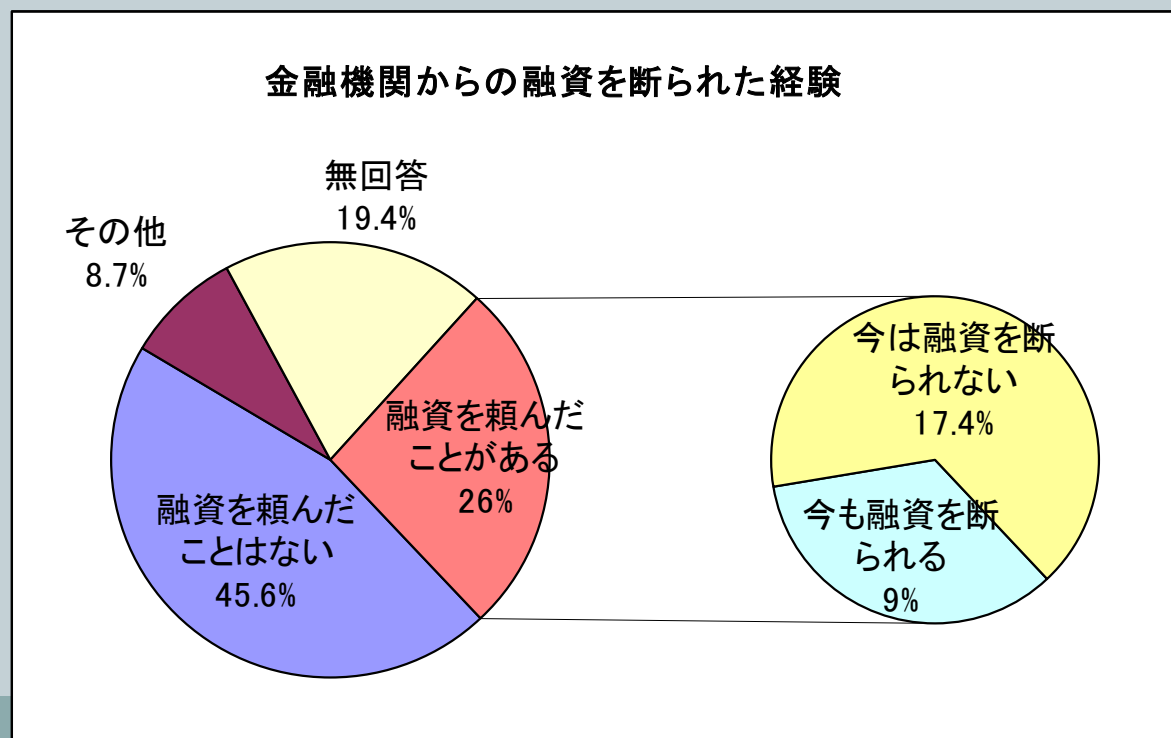


3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査 (6)借入の障害要因

- 現在も金融機関から融資を断られるNPOが少なくない
- NPOはなぜ、資金を金融機関から借りられないのか



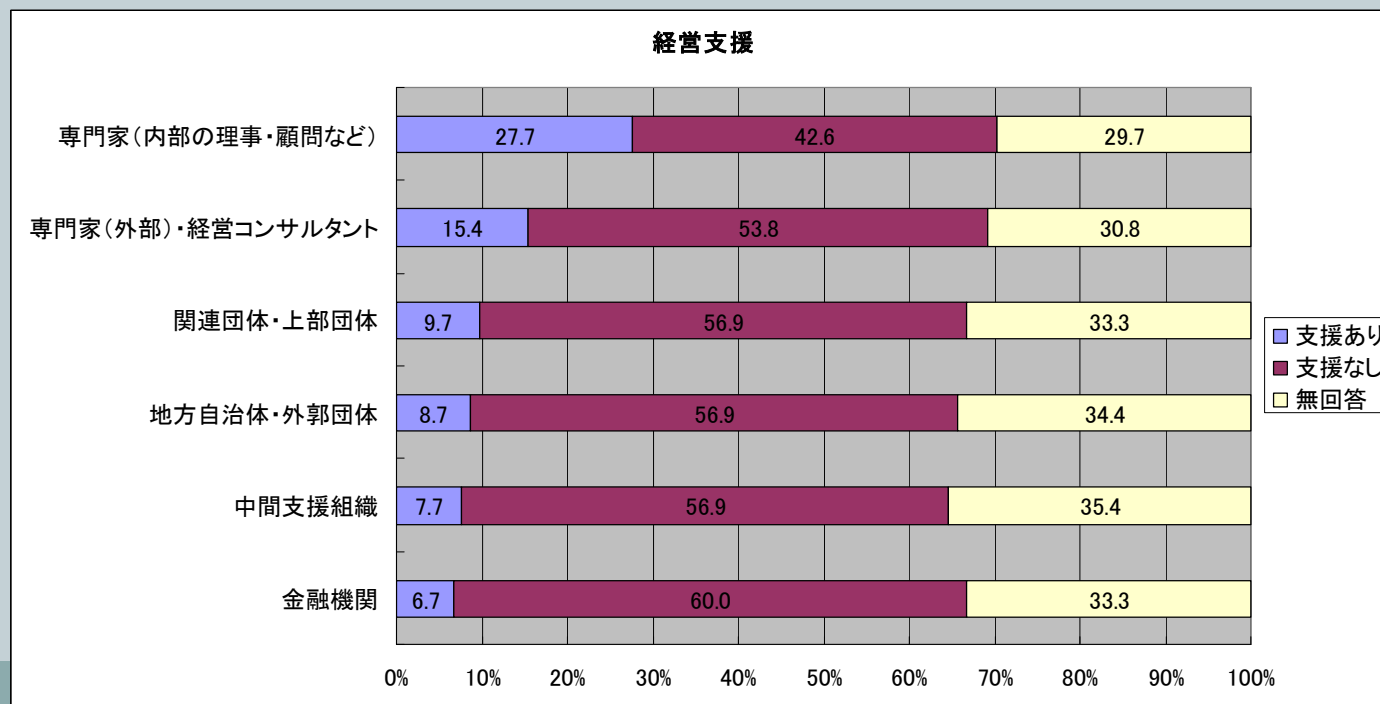
- 貸し手側の要因
- 借り手側の要因



3. NPO融資に関する質問票調査・聞き取り調査 (7) 経営支援

- 質問票調査では、多くのNPOが経営支援を受けていない
- 比較的多いのは組織内部の理事や顧問などから
⇒ **組織的な対応が未整備**

- 支援内容で多いものは、会計・経理、事業作成、税務など



結 論



- NPOの融資需要は**事業分野や資金使途に偏り**
 - 収益事業で利益を生み出し、確実に返済の見通しを立てられる事業分野が中心。
 - 事業所の購入、設備投資、委託事業の実施が主な使途
 - つなぎ融資は金融機関によって供給されているが、設備投資は不十分
- 外部からの**経営支援はほとんどない**
 - 専門家のいるNPOと、専門家のいないNPOとの分化
 - 経理・税務などの専門知識が不足しているNPOに対して、外部からの経営支援が必要